

登録番号 第 23365 号

フェルテラ[®]スタークル[®]箱粒剤 CU

●作用性の異なる2つの殺虫成分の組み合わせにより、初期害虫・コブノメイガ・ウンカ類を長期間防除できます。

- 特長：
- 有効成分ジノテフランを高含量・溶出制御化した製剤で、イネクロカメムシやイナゴ類も防除できます。
 - 播種時から移植当日まで幅広く使えるので、栽培計画に合わせた処理が可能です。
 - 農林水産省「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に掲載された農薬です。

| | | | |
|------|---|------|-------------------------------|
| 有効成分 | ジノテフラン（化管法第1種）・・・6.0% クロラントラニリプロール・・・0.75% | 包装 | 1kg×12 3kg×6 10kg×1（JA） |
| 性状 | 類白色細粒 | 有効年限 | 5年 |
| 毒性 | 普通物 [*] | 危険物 | - |

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用害虫及び使用方法】

2021年12月22日付内容

| 作物名 | 適用 病害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の 使用 回数 | 使用 方法 | クロラントラニリ プロールを含む農 薬の総使用回数 | ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数 |
|------------|---|--|------------------------|-----------------|--------------------------------|---------------------------------|---|
| 稲 (箱育苗) | ウンカ類 イネヌズバウムシ イネトモイシ コメイチユ コブノメイガ アカヒゲコヤガ イネトモシ | 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5 [㍓]) 1箱当り 50g | は種前 は種時覆土前 ～移植当日 | 1回 | 育苗箱の床 土又は覆土 に均一に混 和する | 1回 | 4回以内 (育苗箱への 処理及び 側条施用は 合計1回以内、 本田での散布、 空中散布、 無人航空機散布は 合計3回以内) |
| | | 高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g) | は種前 は種時覆土前 ～移植当日 | | | | |
| | ツマグロヨコバイ イネカメムシ イナゴ類 | 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5 [㍓]) 1箱当り 50g | 移植3日前～ 移植当日 | | 育苗箱の上 から均一に 散布する。 | | |
| | | 高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g) | | | | | |

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- (2) 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5L）1 箱当りに乾粒として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。
- (3) 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
- (4) 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植すること。育苗箱に高密度には種した場合は、とくに注意して葉に付着した薬剤を払い落とすこと。
- (5) 本剤を床土又は覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用すること。また本剤を処理した床土又は覆土を放置しないこと。
- (6) 葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布すること。
- (7) 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (8) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- (2) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。